

再評価項目調書

再評価実施要件		○ 事業採択後 () 年 ● 再評価後 (5 年) ○ その他 ()					
1 事 業 概 要	事業名	黒木川 総合流域防災(準用河川改修)事業					
	事業場所	周南市大字長穂地内					
	事業主体	周南市					
	事業期間	《前回評価 平成 27 年時》 平成 3 年度 ~ 令和 5 年度 《令和 5 年度》 (西暦 1991 年度 ~ 西暦 2023 年度 《西暦 2023 年度》)					
	総事業費 (内用地補償費)	1045 百万円 (182 百万円)	既投資額 (内用地補償費)	930 百万円 (153 百万円)	進捗率 (用地補償費)	89 % (84 %)	
	事業目的	周南市に位置する黒木川は、二級河川錦川に合流する流域面積11.7km ² 、流路延長2.8kmの準用河川である。 河道の流下能力は不足しており、治水安全度が低い河川である。過去に豪雨による宅地及び農地の浸水被害もあることから、治水安全度の向上を目的として早急に河道改修を実施する。					
	事業内容	洪水対策の整備規模：年超過確率 1/5 計画延長：L=1.0km 工種内容：護岸工、掘削工、橋梁工					
事業効果	河道改修は二級河川錦川との合流地点より、上流へ800mまで両岸の改修が完了している。左岸のみならば877mまで完了している。 事業効果として、浸水被害の軽減のみだけでなく、人身被害の軽減、精神的被害の軽減も得られている。						
2 再 評 価 の 視 点	(1) 社会経済情勢の変化に伴う必要性の変化	近年の気候変動の影響等により、集中豪雨や台風等による被害が全国各地で多発している。山口県内の河川では、平成21年7月中国・九州北部豪雨災害で多大な豪雨被害を被っており、当該河川においても未改修区間において浸水被害を被っている。 前回評価以降に新たな浸水被害は無かったものの、当該河川を渡河している道路は、主要生活道路となっていることや地元住民からの治水対策に対する要望も強いことから、引き続き継続的な改修が必要である。				中項目 評価	大項目 評価
	関係市町及び地元の意向	過去の浸水被害や近年の異常気象を踏まえ、地元の治水対策への関心は高く、治水安全度向上の要望は強い。				中項目 評価	Ⓐ ・ B ・ C
						Ⓐ ・ B ・ C	Ⓐ ・ b

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果分析等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: right;">(単位：百万円)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>前回 (基準年：H27)</th> <th>今回(再評価) (基準年：R2)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>全体事業</th> <th>全体事業 残事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">便益 (B)</td> <td>①一般資産被害軽減便益</td> <td>851</td> <td>2,475</td> <td>1,168</td> </tr> <tr> <td>②農作物被害軽減便益</td> <td>37</td> <td>40</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>③公共土木施設等被害軽減便益</td> <td>1,443</td> <td>3,928</td> <td>1,854</td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td>22</td> <td>119</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>⑤残存価値</td> <td>8</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>2,362</td> <td>6,602</td> <td>3,137</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td>1,677</td> <td>2,230</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>194</td> <td>251</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>③その他</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>1,871</td> <td>2,480</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比 (B/C)</td> <td>1.3</td> <td>2.7</td> <td>19.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 便益(B)・費用(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p> <p>【費用対効果分析手法】</p> <p>○根拠マニュアル 治水経済調査マニュアル(案) 令和2年4月 国土交通省水管理・国土保全局</p> <p>○各便益の説明</p> <p>①一般資産被害軽減便益：整備により軽減される家屋、事務所、農漁家の資産被害額</p> <p>②農作物被害軽減便益：整備により軽減される農作物被害額</p> <p>③公共土木施設等被害軽減便益：整備により軽減される公共土木施設等(道路、農地、農業用施設等)の被害額</p> <p>④その他の便益：施設の残存価値、整備により軽減される営業活動停止損失および応急対応にかかる費用</p>	(単位：百万円)				区分	主な項目	前回 (基準年：H27)	今回(再評価) (基準年：R2)	備考	全体事業	全体事業 残事業	便益 (B)	①一般資産被害軽減便益	851	2,475	1,168	②農作物被害軽減便益	37	40	19	③公共土木施設等被害軽減便益	1,443	3,928	1,854	④その他の便益	22	119	56	⑤残存価値	8	40	40	総便益	2,362	6,602	3,137	費用 (C)	①事業費	1,677	2,230	144	②維持管理費	194	251	16	③その他	-	-	-	総費用	1,871	2,480	161	費用便益比 (B/C)		1.3	2.7	19.5	大項目 評価
	(単位：百万円)																																																													
	区分	主な項目	前回 (基準年：H27)	今回(再評価) (基準年：R2)	備考																																																									
			全体事業	全体事業 残事業																																																										
便益 (B)	①一般資産被害軽減便益	851	2,475	1,168																																																										
	②農作物被害軽減便益	37	40	19																																																										
	③公共土木施設等被害軽減便益	1,443	3,928	1,854																																																										
	④その他の便益	22	119	56																																																										
	⑤残存価値	8	40	40																																																										
	総便益	2,362	6,602	3,137																																																										
費用 (C)	①事業費	1,677	2,230	144																																																										
	②維持管理費	194	251	16																																																										
	③その他	-	-	-																																																										
	総費用	1,871	2,480	161																																																										
費用便益比 (B/C)		1.3	2.7	19.5																																																										
(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	<p>河道改修は二級河川錦川との合流地点より、上流へ800mまで改修が完了している。左岸のみならば877mまで完了している。 未着手区間の護岸設置及び橋梁の架け替えを行い、上流の改修に着手する。</p> <p>【事業費の変化】 有 (無)</p> <p>【事業期間の変化】 有 (無)</p>	大項目 評価																																																											
(4) 代替案等の可能性	コスト削減	<p>護岸工は、平成25年度に1：2.0勾配の自然石張工から1：0.5勾配のブロック積工法に変更したことで、事業費の削減を行った。 なお、未改築の横断工作物についても、詳細設計時に最適な工法を選定することにより、コスト削減を図る。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>中項目 評価</th> <th>大項目 評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">a・b</td> <td style="text-align: center;">A ・ B ・ C</td> </tr> </table>	中項目 評価	大項目 評価	a・b	A ・ B ・ C																																																							
中項目 評価	大項目 評価																																																													
a・b	A ・ B ・ C																																																													
	代替案	<p>遊水池やバイパス水路等の案があげられるが、既に事業費ベースで89%の改修が完了しており、用地も既に84%取得済であることから、現計画を変更することは適切でない。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>中項目 評価</th> <th>大項目 評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">a・b</td> <td style="text-align: center;">A ・ B ・ C</td> </tr> </table>	中項目 評価	大項目 評価	a・b	A ・ B ・ C																																																							
中項目 評価	大項目 評価																																																													
a・b	A ・ B ・ C																																																													
3 環境	配慮事項	<p>改修にあっても、環境や景観に配慮した護岸設置を行い、河床部についても瀬や淵の復元に努めるなどの対策を行う。</p>																																																												
4 対応方針	(事業実施主体案)	<p>総合評価 ● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止</p> <p>評価理由 当該河川では過去に浸水被害を被っており地元住民の治水対策に対する要望も強いことから、早急に治水安全度を向上させるため、事業を継続する必要がある。</p> <p>備考</p>																																																												

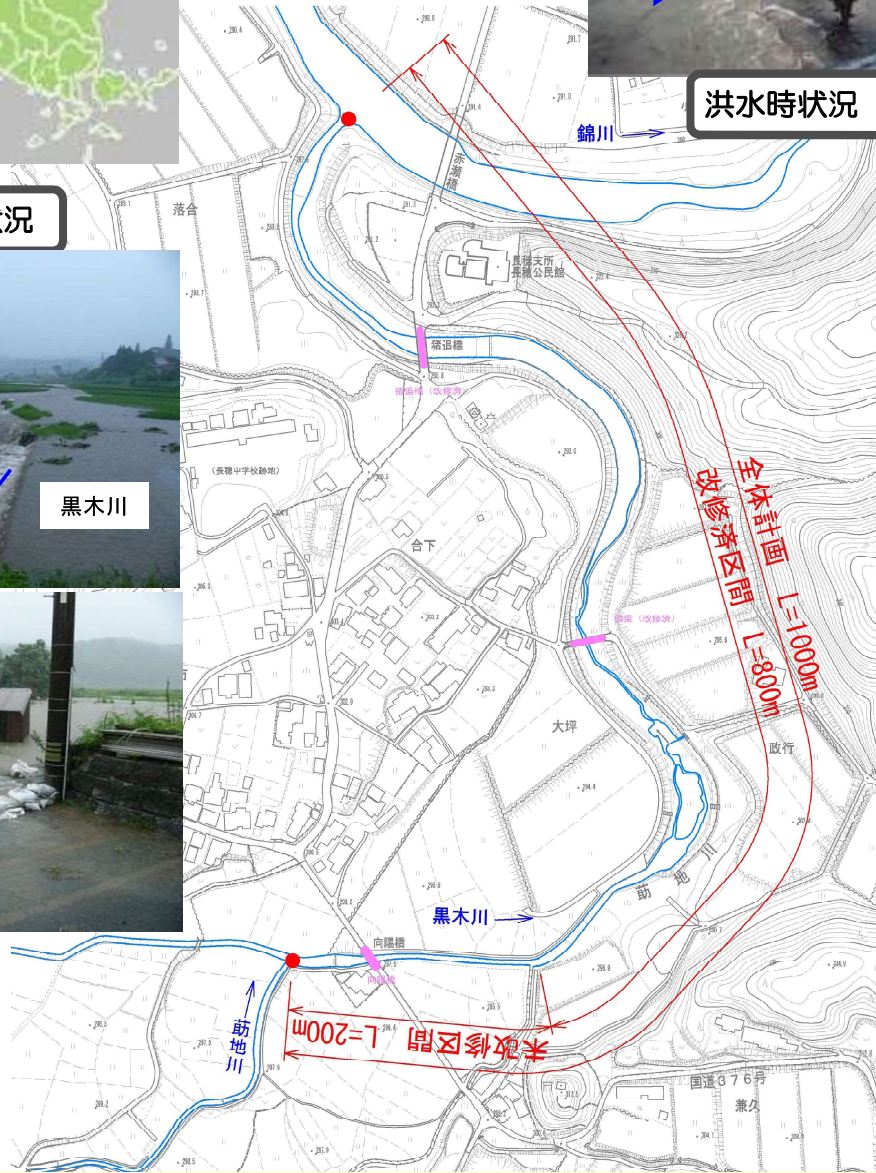
黒木川 総合流域防災(準用河川改修)事業

位置図



洪水時状況

洪水時状況



「この地図は、周南市長の承認を得て平成27年3月作成周南市都市計画図を使用したものである。(承認番号:周都政第211号)」

標準断面図

